

校長室だより

11月号

杉並区立向陽中学校
平成29年11月30日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】 継続

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 『人間賛歌が響き渡る向陽中学校』にしたい！ =その3= 自立への鍵

〈 ボランティア活動で見せる向陽中生のきりっとした表情 〉～ 笑顔、ねばり強く ～
□【10/31 浜田山駅前放置自転車クリーンキャンペーン】

「校長先生、今か今かと到着をお待ちしていました」と杉並区交通対策課の担当者の皆さん。「今日はよろしくお願ひします。浜田山駅での活動は向陽中学校の生徒さんだけでするので、本当にありがとうございます」と続けました。私は「向陽中の生徒だけ」との言葉に初めはキョトンとしてしまいましたが、「そうなんですか。分かりました。こちらこそよろしくお願ひします」と返しました。36名の向陽中生が申し込んでくれたことのうれしさが数倍になった瞬間です。

見知らぬ通行人に「放置自転車クリーンキャンペーンへのご協力をお願いします」と声をかけるには勇気がいります。しかも、声をかけるだけでなくポケットティッシュをもらってもらわないといけないのです。私は「こうするとティッシュを手にとってもらえるよ」とアドバイスだけ。生徒自身の試行錯誤が求められます。反応してくれない人のことをくじけている暇などなく、すぐにつぎにトライします。生徒は反応してくれる人にとびっきりの笑顔で「ありがとうございます！」とお礼を言い、このうれしさを糧に次から次へとお願ひに回ります。うまいな！と思わず感心してしまう生徒もいます。「どこの中学校？」と聞かれ、笑顔で「向陽中学校です！」と胸を張る生徒もいました。充実感いっぱいのボランティア活動となりました。

— 昨年は高井戸駅、昨年は永福町駅で放置自転車クリーンキャンペーンのボランティア活動に参加しました。年々その数が増えています。これからも活動の幅を広げていきます。



呼びかける向陽中生 / 「お疲れさま」と労いのお言葉

□【11/3「町ぐるみ運動会」ボランティア活動】

恒例の「町ぐるみ運動会」にボランティア活動として59名の向陽中生が参加してくれました。このボランティア活動のいいところは、予行がないこと、小さな子どもや地域の人と直接関わることの2点です。予行がないため、自分たちで先を見越して行動しなければなりません。それに

は、目と耳で情報をキャッチしすぐに行動する必要があります。また、場合によっては地域の方々の指示が飛び、素早く対応しなければなりません。“町ぐるみ”には、かつて中学生がそうであったように、多くの幼児や小学生が参加します。こうした子どもたちにとって中学生は大人と同じように頼れる存在です。ですから、中学生は大人を演じなければならないのです。このことが成長につながります。

一方、中学生は頼もしいボランティアであることは誰の目にも明らかですが、地域の大人の目には“まだまだ幼い子ども”です。ですから、気が利かなかったり、ズルをしたり、さぼったりしていると、大人が苦言を呈します。これでいいのです。大人は中学生の頑張りは必ずほめてくれます。ほめたり叱ったりする大人が身近にいることがどんなにかありがたいことか。裏を返せば、家庭でのしつけや学校での指導が問われていると見ることもできます。

私は、この下高永福地域ならではのこの「町ぐるみ運動会」が、幼児や小学生、そして中学生の成長に大きく寄与している地域行事だと確信しています。



11/3 町ぐるみ運動会で各係に分かれてボランティア活動に励む向陽中生(59名参加)

〈「生徒総会」がつくる“自立”に向けた高揚感！〉

11月7日(火)に新生徒会発足後の後期生徒総会が開かれました。私の印象に残ったことは、議案書がこれまでよりしっかりした内容であったこと、生徒会長と各委員長がしっかりと答弁していたことです。議案書に目を通してみると、「チャレンジし続ける生徒会!」、「先輩(2年生)になる準備を!」、「TSUNAGU・人と人をつなぐ」、「最高の学年として卒業する!」、「新しいことに挑戦し…」、「グレードアップ!」などのフレーズが目を引きました。3年生が残してくれたチャレンジ精神を後輩がしっかりと受け継いでいます。しかも、生徒会と各委員会の活動内容が明確でした。期待が膨らみました。

生徒総会は、生徒会長や各委員長が説明する「活動の目標・内容・実施計画」の承認が主です。いつもの光景ですが、会長と委員長は質問の矢面に立たされます。今回のやり取りはいつになく白熱しました。しかし、会長と委員長の答弁姿勢と内容がすばらしく、質問者も納得せざるを得ませんでした。何とも頼もしい2年生です。なお、今回初めての試みとして、総会后、委員長と副委員長が各学級を回り、質問があるかどうかを投げかけました。全校生徒を巻き込みたいという思いからです。



(上) 質問に答える田口会長
(下) 学級の質問に答える保健給食委員長と副委員長

〈「杉並区立中学校連合文化祭」への参加で活動の幅を広げる向陽中生〉

昨年度より杉並区立中学校連合文化祭の“書評座談会”と“英語学芸発表会”に生徒が参加しています。今年度も生徒の活動の幅を広げ、挑戦する、人や書物、作品などに学ぶことをねらいとして生徒が取り組みました。自らの意思で挑戦し活動するという点では、学校内の委員会活動や校外のボランティア活動等と同じと言えます。杉並区内の中学生が集う折角の機会を逃す手はありません。一方、セッション杉並に展示された“杉並子どもサイエンス・グランプリ 2017”の「研究記録物」は、生徒が夏休みに自由研究としてまとめたものです。理科の先生の働きかけがあっての生徒の挑戦です。これからもこうした機会への参加を生徒に呼びかけていきます。



(上左2つ)杉並子どもサイエンス・グランプリ2017の作品



(上右)家庭科作品「刺し子の袋」(下左2つ)第59回書評座談会の参加生徒・英語学芸発表会の参加生徒(下右)美術作品「心の中の世界」「自画像」「ポスター」「ふしぎな街」

〈“いじめのない向陽中学校”をつくる その3〉

本校では、杉並区いじめ防止対策基本方針等の改定を受け、9月に「いじめ防止基本方針」の改定を行いました。学校ホームページに掲載してありますのでご確認ください。主な変更点はつぎの通りです。①いじめを発見した場合、適時適切に管理職に報告する。②学級活動においてルールや規範を守る意識を高める。③いじめが解消した後3か月は経過観察を行う。④基本方針に基づく取組の実施状況について学校評価を行う。以上4点です。④以外はこれまでも行ってきていますが、改めて明記することにより遺漏がないようにするねらいがあります。

10月30日～11月2日の間に今年度第2回「学校生活アンケート」(年3回実施予定)を行いました。今回の調査は“7月から10月までのいじめ”の把握がねらいです。自分が「いじめられた」と書いた生徒は3名いて、「いじめを相談された」という生徒が1名いました。いずれも1年生です。3件とも担任が把握している内容で、当該生徒への指導や学級での指導を終えています。また、内容により学年全体で指導を行いました。今後も注意して観察していきます。深刻ないじめとまでは判断しませんが、一歩間違えばそうした事態に発展する恐れがありますので、常にいじめを受けた側の立場に立った対応を心がけます。

◇ 平成 28・29 年度「杉並区教育課題研究指定校」としての今年度の取組み経過

研究テーマの「主体的・対話的で深い学びを通じた学力の向上」は、生徒が“どのように学ぶか”に焦点を当てた研究課題です。わかりやすく言うと、授業を「静」から「動」へ。これまで多く見られた講義形式の授業から、生徒が能動的かつ協働して学ぶ形式の授業に変えるのです。これは次期学習指導要領のキーワードとも言うべき「主体的・対話的で深い学び」が目指すところです。そして、本校ではこの教育課題研究の取組を通して、生徒を「自立した学習者」に育てることをねらいとしました。

この教育課題研究の取組みは、取りも直さず先生方の日々の授業実践に負うところが大きいです。生徒が学びに興味や関心をもって向かうには授業をどうすればいいか、どの場面で対話的な学び、つまりグループ学習（4人組）を取り入れるか、その際のグループ学習の課題を何にするか、場面によってはペア学習を有効に活用できないかなど、先生方が試行錯誤を重ねるなかで、よりよい実践につなげようとしています。

もう一つ、この教育課題研究の取組みとして授業研究会があります。年間7回実施予定ですが、それ以外にも小中合同研修会（30.2.16 予定）で、高三小と永福小の先生方とも連携して取り組んでいます。10月27日（金）の第4回授業研究会では、3年生の国語、数学、社会の授業を参観し、先生方も4つのグループに分かれ研究協議を行いました。講師の立教大学教授河野哲也先生より、研究授業での生徒様子や先生方の協議内容などについて指導・講評をいただきました。



（左）グループ討議（中）講師の河野哲也先生の講話（右）グループ発表による全体共有

◇ 学校評価アンケートにご協力をお願いします ～生徒・保護者・地域対象～

明日から師走12月です。冠雪や積雪の便りが伝え聞かれます。新年度がスタートしてはや8か月間が過ぎました。本校は今年度、開校70周年を迎え、運動会や向陽祭等の行事では「開校70周年記念」を冠し、生徒のやる気や主体性を演出しました。また、11月25日（土）に「開校70周年記念式典・記念演奏」を行い、地域・保護者・卒業生・在校生・教職員が一堂に会し70周年を祝いました。もう一つ、本校は今年度、上記のように区教育課題研究「主体的・対話的で深い学びを通じた学力の向上」に取り組んでいます。さらに、今年度より、めざす生徒像を「自立的に活動できる生徒」に改め、“自立的に活動できる生徒及び集団”に育てることに力を入れて取り組んでいます。今年度もあと4か月となりましたが、今後もよろしくお願ひします。

さて、例年この時期から、今年度の「学校評価」を始めます。学校が“自己評価”を行う際の適切なデータを得るために、生徒・保護者・地域の皆様に学校評価アンケートをお願いしました。内容は昨年度とほぼ同じです。11月27日（月）に生徒を通じて「保護者アンケート」を配付しました。12月8日（金）までにご提出ください。また、地域の皆様もよろしくお願ひします。